

生育不良木伐採作業 作業手順

・チェーンソー等を使用した伐木作業

内 容	留 意 事 項	危険性・有害性の洗い出し	重篤度	可能性の度合	リスク評価	優先度	リスク低減措置	
準備工	<ul style="list-style-type: none"> 作業内容の打ち合わせ(KV)活動 作業人員の確認 作業位置・規制の確認 使用機械の点検 保護具の点検 作業方法の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 安全品質作業指示書による。 伐木講習修了者を中心に編成、各種資格の確認。 チェーンソー、高所作業車、バックカー、工具等の点検。 保護眼鏡の装着。 事前調査により立案された作業計画をもとに、職員・責任者間で作業方法等について確認する。 						
現場 ケーブル確認 危険物の除去	<ul style="list-style-type: none"> ケーブル露出箇所の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 作業員全員に施工場所説明の徹底。 ケーブルよりボンベ・ケーブルで目印つける。 仮設ケーブル付近の伐採を優先に行い、ケーブル周囲には伐倒した木がないようにする。 ケーブルの目印が常に確認出来る状態で施工を行う。 草刈り作業については、ケーブル周辺は除草剤対応とし、刈り払い機の使用を禁止する。 仮設ケーブルの連続してある箇所は施工しない。(施工時は事前協議をする) 点にする露出ケーブルについては事前に前後3mほど現場責任者○副責任者の立会のもと作業完了まで行う。 ツル等が絡んで引きずり込めない場合カマ等を使用し人力で処理する。 ケーブル付近では機械作業を行わない。 	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルを切断してしまう。 	4	4	8	IV	<ul style="list-style-type: none"> 作業前の現場確認をする。 ケーブルの近接は手作業。もしくは除草剤散布する。
作業前の現地調査	<ul style="list-style-type: none"> 責任者は、作業当日現場にて現場状況確認し、作業現場が作業計画と合致しているかの確認を行い、作業員全員に現場の注意事項や工法・人員配置の指示を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 切り下げが必要な樹木の選定。 一人作業にならないよう人員配置 計画と異なる事案については担当者と再度打合せを行う。 						
作業中の滑落・墜落対策	<ul style="list-style-type: none"> 急勾配の法面やC-BOX上等で作業時、滑落・墜落防止対策実施 	<ul style="list-style-type: none"> 施工前に現地を確認し、必要であれば親綱、安全帯等を使用し、滑落・墜落防止対策を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 法面から滑落・転落する 	4	2	6	III	<ul style="list-style-type: none"> 親綱、安全帯の使用
伐木作業	<ul style="list-style-type: none"> 落下物防止柵の設置 伐採 伐倒方向の決定 伐採木切断 高所の伐採は高所作業車を使用(複数作業員による作業) つるし切りを基本とした作業。 切り土法での伐採 擁壁上部等、高所からの荷卸作業 	<ul style="list-style-type: none"> トンネル上部など供用車線上で作業を行う場合は落下防止柵を必ず設置し伐木などの落下防止をする。 支障物の無いことの確認。 チェーンソーのキックバックに注意、周辺作業員へ声を掛ける。 有資格者による伐木(チェーンソー)作業。 チェーンソー使用時チャップス等の保護衣の着用。 樹木の伐採前に責任者・切り手と打ち合わせを行い、使用する牽引具(テルホール・介助ロープ)・補助人数の選定を行う。 事前に選定した工法で伐倒出来なかった場合は一時中断し、再度工法の見直しを行う。 受け口を作るべき立木の対象を胸高直径40cm以上のものから20cm以上に拡大する等、立木の伐倒時の処置に範囲を拡大変更された。 伐倒時、立木の樹高の2倍の区域内への伐倒者、合図者、牽引補助者以外の立入りを禁止する。 隣接での伐倒作業は、立木の樹高の2.5倍の区域内への伐倒者、合図者、牽引補助者以外の立入りを禁止する。 高所作業車手順書による。 高所作業車を使用し、高木の切り下げを行う。 作業可能な範囲は高所作業車を使用する。 高所作業車を使えない場合は、安全帯を身近な樹木に掛け転落を防止する。 高所作業車が使えず、身近に樹木がない場合は横方向に親綱を張り安全帯をとる。高所作業での転落注意。 伐採箇所が擁壁上部の様に高所からの場合は移動式クレーンを使用し、安全に荷卸を行う。(落下させての荷卸はしない。)(移動式クレーンのマニュアル準用) 枝・葉などは軽い為、風等の影響を受け易いので注意する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本線やランプに伐木が落下して一般車に当たる。 チェーンソーで自身及びまわりの作業員にケガをさせる。 倒木の下敷きになる。 高木伐採時、伐倒方向が変わり、通行車両に当たる。 法面より滑落しケガをする。 	3	1	4	II	<ul style="list-style-type: none"> ロープ、コンパネを使用し落下対策を行う。 チェーンソー使用時は作業員との距離をとる。 樹切創用保護手袋、チャップス等の使用 介助ロープ又はテルホールの使用 合図の徹底、複数人で行い、なるべく清室等を使用し牽引方向を要る、伐倒範囲外で実施する。
積み込み作業・清掃	<ul style="list-style-type: none"> 積み込み 積み込み箇所の掃除 	<ul style="list-style-type: none"> 車両の駐車は、出来るだけ見通しの良い場所へ置く。 トラック積込はラコン側では行わない。 バックカーの場合は、バックカー車積み込み作業手順書による。 ヒアブを使用して伐採木を積み込む時積荷の下に入らない 小枝・落ち葉の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ホッパーに手を挟まれる。 ヒアブ使用時に伐採木の下敷きになる。 枝が跳ね上がり目撃がする。 	5	1	6	III	<ul style="list-style-type: none"> スイッチマンが抑止棒を使用し 伐採木の下に入らない 保護メガネを使用する
運搬	<ul style="list-style-type: none"> 指定された場所に運搬する 	<ul style="list-style-type: none"> トラックの積み荷飛散防止の確認。 バックカーのゲートロック確認。 一般道は制限速度で走行する。 						
作業終了と後片付け	<ul style="list-style-type: none"> 終礼の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 切りくず・道具等の放置確認。 						

注意事項

- 現場責任者の指示により作業を進める。
- 高木処理を行うときは、上部の伐採木と親木をロープ掛けをする。(伐採木落下防止)
- 伐倒方向には立ち入らない。
- 介助ロープを取り付け伐倒を行う。
- 伐採木を高所作業車から降ろす場合は、ロープを使用する。(上下で連絡を取合い、合図のもと下ろす)
- 高所作業は安全帯を使用する。
- 規制内での作業開始前「避難場所」を定めて、避難訓練を実施する